

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年7月27日(2020.7.27)

【公表番号】特表2019-521184(P2019-521184A)

【公表日】令和1年7月25日(2019.7.25)

【年通号数】公開・登録公報2019-030

【出願番号】特願2019-517750(P2019-517750)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/198	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	19/06	(2006.01)
A 6 1 K	31/197	(2006.01)
A 6 1 K	31/05	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/20	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/198	
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	19/06	
A 6 1 K	31/197	
A 6 1 K	31/05	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 K	9/10	
A 6 1 K	9/20	
A 6 1 K	9/48	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	43/00	1 0 7

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月10日(2020.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動物およびヒトにおける高レベルの体脂肪、コレステロール、尿酸およびグリセミック指数の低下に用いるための組成物であって、薬学的有効量の、許容される化学形態のアミ

ノ酸グリシン、アルギニンおよびシステイン、ならびに薬学的有効量の、許容される化学形態（水和物、エステル、アミド、多形体、異性体もしくはプロドラッグまたはそれらの組合せ）のレスベラトロールまたはその誘導体を含有することで、対象におけるメタボリックシンドローム症状の矯正を実現する、組成物。

【請求項 2】

以下の比率の生物学的に活性な成分（処方物 I）：レスベラトロール 100～2,500 mg、グリシン 3,000～7,000 mg、アルギニン 300～5,000 mg およびシステイン 200～2,500 mg を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

生物学的に活性な成分の組成物が、水性懸濁剤、錠剤、ポリマーカプセル剤として適用される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

患者の血液中の総血清コレステロールレベルを低下させるのに有効である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

患者の血液中の尿酸の濃度を低下させるのに有効である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

患者の動脈中のプラークの体積を減少させるのに有効な量である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

患者の体脂肪の量を減少させるのに有効な量である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

患者の血液中の高グルコース濃度を低下させるのに有効である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

他のアミノ酸が適用される、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 10】

疾患が、メタボリックシンドローム、アテローム性動脈硬化症、肥満症、糖尿病、痛風、またはそれらの組合せである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

血清コレステロール、グルコース、尿酸、体脂肪、またはそれらの組合せのレベルの異常な上昇に関連する疾患の進行重症度を低下させるのに有効である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 12】

メタボリックシンドローム、アテローム性動脈硬化症、肥満症、糖尿病、老化、またはそれらの組合せにより損傷を受けた器官の細胞保護剤、代謝および細胞増殖刺激物質として作用するのに有効である、請求項 1 に記載の組成物。